

# Domaine de l'edre

ドメーヌ ド レードル

採算度外視の超低収量で作るルーション最高峰のワイン



ドメーヌ・ド・レードルは、ラングドック・ルーションに2002年に創設された小さなドメーヌです。運搬業に従事していたジャック・カスターと銀行でIT業務に携わっていたパスカル・デュニドーが「果実感を生かした力強さの中に美しくバランスの良いエレガント溢れるワインを造りたい」という情熱の下、自宅のガレージをカーヴに改装し、ワイン造りをスタートさせました。少量生産ながらも良質なワインを作ることへの拘りは強く、ローヌのトップ生産者並みの手間をかけ、2003年の初回ヴィンテージでいきなりパーカーポイント90点を獲得。翌2004年には、デキヤンタで20点満点中19.3点という高得点を打ち出し、2005年にはパーカーポイント95点を叩き出し、一躍トップ生産者の座に君臨しました。最近のヴィンテージでは、ジェームス・サックリングでも90点以上の高評価を獲得し、今やルーションのスター的なドメーヌとして確固たる地位を築いています。

現在、ジャックとパスカルはドメーヌの運営から退き、現当主のピエール・ラポルトが栽培から醸造に至るまで全ての工程を担っています。ワイン造りに並みならぬ情熱を注ぐピエールは、ジャックとパスカルが築き上げたワイン造りの哲学を受け継ぎ、有機栽培、徹底した収量制限、低温マセラシオン等を実践し、最高品質のワインを追求し続けています。

ドメーヌは、ペルピニャンから北東30キロのヴァングロ村にあります。この村は、ロック・クライミングで有名な石灰岩の断崖に囲まれた盆地で、粘土石灰と頁岩質の泥灰岩が混じる痩せた土壤、豊かな日照量、夏に爽やかな空気をもたらす乾燥した季節風、標高200~350メートルの高地といった地理条件により、ルーションでも特に優れたテロワールを誇ります。

■コート・デュ・ルーション・ヴィラージュ・トータヴェル地区■ コート・デュ・ルーション北部のAOCコルビエール地区とテト川の間に広がるコート・デュ・ルーション・ヴィラージュ・トータヴェル地区は、コート・デュ・ルーション・ヴィラージュ地区の中でも限られたエリアで、品種や熟成期間に関する規定(収穫翌年の10月1日まで販売不可など)がコート・デュ・ルーション・ヴィラージュよりも厳しく、収量を制限することによりコート・デュ・ルーションよりも力強く熟成向きの赤ワインを産出することで知られています。

◆栽培◆樹齢:グルナッシュは約80年。シラーは、ドメーヌスタート時に植え替えたため比較的若い。畑では、殺虫剤や除草剤は一切使用せず、持続可能な農法を実践。小さい箱を使って手摘みで収穫。収穫量は1haあたり20hl程度、アペラシオンが定めている40hl/haのおよそ半分以下。収穫したブドウは、温度調節付きのトラックでワイナリーまで運び、畑と醸造所で2回選果を行う。

◆醸造◆全て天然酵母を用いて自然発酵。発酵前に低温マセラシオンを行い、過度な抽出を避け、フィネスのあるエレガントなスタイルに仕上げている。

■2018ヴィンテージ情報■ 2017年が暑く乾燥した夏の気候により、ブドウの実をたくさん実らせた割に果汁が少なかったのに対し、2018年は十分な雨量に恵まれたため、果汁の量も程よく、それまでブドウを実らせていなかった若木からも収穫を得ることが出来ました。この年は、生育期の初期からぐずついた天候が続きましたが、収穫直前からカラッと晴れたインディアンサマーに恵まれ、夜間は涼しく、日中は暖かい理想的な気候条件が9月末まで続いた良年となりました。

■2021ヴィンテージ情報■ この年の生産量は、春霜やベト病等の被害により、記録的な低水準に落ち込みました。ラングドック地方でも、前年より大幅な減収となったものの、上質なブドウを得ることができ、香り、味わいともにバランスの良いワインに仕上がりました。

■2022ヴィンテージ情報■ この年の生育期前半は、霜や雹に見舞われましたが、夏に入ると暑く乾燥した気候が続き、ブドウ樹の生長が早まりました。十分な日光と風により病気のプレッシャーもなく、ブドウの成熟は順調に進みました。例年になく収穫時期が早まり、8月初旬に収穫が始まりました。よく熟したブドウからは、凝縮感のある果実味とシルキーなタンニンを備えた風味豊かなワインができました。

## 2022 Côtes Catalanes “Carrément Blanc”

コート カタラーヌ “カレマン ブラン”

上代価格 ¥4,700(税別)

JAN コード: 4543190180634

カレマン・ブランは、柑橘系果実のアロマを湛えた、厚みのある味わいが特徴の白ワインです。

■テクニカル情報■ 産地:ルーション地方北部ヴァングロ村(IGP コート・カタラーヌ)

品種:グルナッシュ・ブラン 50%、ルーサンヌ 30%、グルナッシュ・グリ 20% アルコール:14.5% 樹齢:15~75 年

栽培:有機肥料を使用し、区画ごとに耕作し手摘みで収穫。醸造:ワインの50%は1~2年使用樽、50%は温度調節出来るステンレスタンクで区画・品種ごとに別個に醸造。ブドウは除梗し、低温マセラシオンを行い、天然酵母で発酵。バトナージュを行ないながら約 8 カ月熟成と共に熟成。

■テイスティング・ノート■ 白い果肉を持つ果実や花、ガーリングの爽やかな香りが広がる。次第に桃やほろ苦いオレンジの風味を帯びていき、フレッシュで芳醇な果実味を湛えた厚みのある後味が長い余韻を生む。

★相性料理:アペリティフというよりは、食事と共に楽しむワイン。魚、鶏、チーズ、両面を炙ったホタテにトリュフをのせた一皿と最高の相性。

2021VT★ジェームス・サックリング 94 点:白コショウやレモン、スパイスの風味に鮮やかで心地よいミネラルが感じられるエネルギー。ツュンの白。ミディアム～フルボディの味わいは、フレッシュ感があり、ピリッとした酸を備えている。ミネラル感のあるパンチの効いた風味豊かな味わいで、余韻が長い。快活さ、緊張感、エネルギーに溢れている。今飲んでも素晴らしいが、まだまだ熟成できる。  
《2022/11/7 掲載》

2021VT★パーカーポイント 90 点:ミカンやライムを思わせる透明感のあるアロマ。ふくよかで丸みのあるミディアム～フルボディの味わい。飲み心地の良い上質なワインで、ライムの皮の香りを纏った長い余韻が印象的。  
《飲み頃:2022-2024 年 | 2023/4/1 掲載》



## 2021 Côtes du Roussillon Villages Tautavel “Carrément Rouge”

コート デュ ルーション ヴィラージュ トータヴェル “カレマン ルージュ”

上代価格 ¥4,400(税別)

JAN コード: 4543190181532

このワインは樹齢の古いブドウを使用しているため、凝縮感のある果実味が特徴です。

■テクニカル情報■ 産地:ルーション地方北部ヴァングロ村(AOC:コート・デュ・ルーション・ヴィラージュ・トータヴェル)

品種:シラー 50%、グルナッシュ 25%、カリニャン 20%、ムールヴェードル 5% アルコール:15%前後 樹齢:25~80 年

土壌:粘土・石灰岩質 醸造:手摘みで収穫。ブドウは破碎せず完全に除梗し、22 日間マセラシオンを行い、天然酵母で発酵。マロラクティック発酵後、約 8 カ月ステンレスタンク熟成。

■テイスティング・ノート■ スパイスや熟した果実を思わせる芳醇で複雑なアロマが香る。味わいはエレガントで凝縮感があり、繊細で丸みのあるタンニンとミネラル感、しっかりと骨格の良いボディを備え、余韻の長い後味が広がる。

★相性料理:バターやアメリカン・ソースを使った肉料理、特に牛肉や羊のすね肉を使った煮込み料理と抜群の相性。アペリティフとして単独でも美味しく飲める。

2020VT★パーカーポイント 92-94 点:このキュヴェの 2020 ヴィンテージも素晴らしい。繊細な花(バラの花びら)やハーブ(ガーリング)の心地よいアロマが、ブラックベリー、ブルーベリーの大膽なアロマと複雑に絡み合う。ミディアム～フルボディのこの素晴らしいワインは、複雑味とともにシルキーなタンニンを湛え、余韻の長いエレガントな後味が印象的。安くはないが、説得力のあるお値打ちワインである。  
《飲み頃:2023-2030 年 | 2021/9/24 掲載》



2020VT★ジェームス・サックリング 92 点:豊かな果実味を備えた調和のとれたワインで、チェリーやカシス、ローリエ、石の香りに仄かなショコレートのニュアンスが香る。繊細で、緊張感のあるタンニンを持つミディアムボディ。透明感があり、しっかりと質感を持つ。躍動感があり、優しいスパイスの香りが口中に広がる。風味豊かな味わいがどこまでも続く。  
《2022/11/7 掲載》



## 2018 Côtes du Roussillon Villages Tautavel “l'Edre”

コート デュ ルーション ヴィラージュ トータヴェル “レードル”

上代価格 ¥6,000(税別)

JAN コード: 4543190152150

トップキュヴェのレードルは、繊細なフィネスが際立つエレガントで洗練されたワイン。過度な抽出を避け、発酵前に長い時間をかけて低温でマセラシオンさせることにより、品のある洗練されたスタイルに仕上がっています。

■テクニカル情報■ 産地:ルーション地方北部ヴァングロ村(AOC:コート・デュ・ルーション・ヴィラージュ・トータヴェル)

品種:シラー 60%、グルナッシュ 20%、カリニャン 15%、ムールヴェードル 5% アルコール:15% 樹齢:25~80 年

土壌:粘土・石灰岩質 醸造:手摘みで収穫。ブドウは完全に除梗し、25 日間マセラシオンを行い、エレガントで繊細な味わいを引き出し、2 年物の開放型ドゥミ・ミュイで自然発酵。マロラクティック発酵を経て 1 年物の樽で 12 カ月熟成。清澄はせず、ろ過は最小限に抑えている。

■テイスティング・ノート■ 黒果実と赤果実の香りにリコリスの風味が香るクラシックなアロマ。口に含むと芳醇な赤果実のニュансが贅沢に感じられる濃厚でエレガントな味わいが口内を満たし、素晴らしい余韻の長い後味がどこまでも広がる。

★相性料理:赤身の肉や牛のヒレ肉、豚肉のロースト、子牛肉などと抜群の相性。

★パーカーポイント 93 点:妖艶で豊満なフルボディ。ヒマラヤスギやバニラ、ローリエ、アニスのアロマが見事に調和し、ブラックベリーの果実味に溶け込んでいく。濃縮感とともにクリーミーなテクスチャーが感じられる贅沢な味わいで、ビロードのように滑らかな後味が長い余韻を生む。今後 10 年間は、このワインの美味しさを堪能できるだろう。  
《飲み頃:2021-2030 年 | 2021/9/24 掲載》

★ジェームス・サックリング 92 点:ブラックベリーやチェリー、バニラ、黒クルミ、ベーキングスパイスのアロマを持つ、シリアルかつリッチな赤。フルボディで、パウダーラー状のきめ細やかなタンニンがあり、長い余韻を持つ。  
《2022/11/7 掲載》